

# プラハ音楽院修了生の体験記

ヴァイオリン部門



【ダナ・ヴラホヴァ先生の公開レッスン（ぎふ・プラハ音楽院セミナー2016にて）

於・OKBふれあい会館 サラマンカホール】

セミナー1回生 竹之内富士子(旧姓西園) 留学期間 1999年9月-2001年6月

東京都出身

私がサラマンカホールでセミナーや留学選考会を受けたのは、ちょうど大学を卒業した時でした。音楽高校へ進んだ頃からヨーロッパへ行きたいという希望があり、大学在学中は短期での留学や一人旅を沢山経験しました。日本の大学を卒業したら、長期留学をしたいと考えていたところ、偶然「ぎふ・プラハ音楽院セミナー」の案内を目にし、その日が月曜日だったため、郵便局へ走ったことを今でも鮮明に覚えています。サラマンカホールで受けたヴラホヴァ先生のレッスンでは、お手本を聴かせて下さる先生の音色が素晴らしく、短い時間で的確なアドバイスを頂きました。レッスンを受けている最中から絶対にヴラホヴァ先生に師事したい！と思っていました。プラハ音楽院へ留学が決まり求めていたヴラホヴァ先生の厳しく温かいレッスンがスタートしました。先生はヴァイオリンの奏法、表現、難しいパッセージに関して、生徒さん毎に的確にアドバイスして下さいます。また、良い楽器、弓についても教えて下さり、正しい知識を身につける事ができました。現在後進の指導にあたることができるのはヴラホヴァ先生のお陰だと思っています。先生はいかに良い演奏ができるか、身体をより楽に使い、思っている音を出す、表現ができる、という事を常に考え、勉強されています。ですから私が出会った時は、すでに素晴らしい先生で演奏家でしたが、お会いし演奏をお聴きする度に進化しておられます。ヴラホヴァ先生程の立場になられて勉強を続け、努力し続けることはなかなかできる事ではないと思います。私も先生に一步でも近づけるよう精進していきたいと思っています。

私は毎年チェコトリオのコンサート、ぎふ・プラハ音楽院セミナーを楽しみにしています。このような素晴らしいコンサートやセミナーが国内で行われるのは、本当に有難い事です。そしてこの事業を続けて下さっている岐阜県教育文化財団、岐阜県チェコ友好協会の方々に感謝いたします。